

コロナ特例貸付金のいま

2021
03月号
no.592

『京都の福祉』は福祉関係者に福祉の課題や情報を提供する「京都府社会福祉協議会」(府社協)が発行する広報誌です

支える人を支える 京都の福祉



- 今月の「ふくしびと」は水谷 友依さん ▼7ページ
- 福祉を支える人とともに く会員制度を見直します ▼6ページ
- 少女たちの居場所づくりの取組 ▼2ページ

✧ 拝啓 未来のあなたへ

春、旅立ちの季節に思うこと。

2020年は世界中が日常生活のあり方やつながりの意識を問われた1年だった。描いていた未来や仲間と過ごす時間が変わってしまった後、あなたの目にうつるのはどんな社会ですか。

✧ コロナ禍により仕事を失う人、居場所をなくした人、不安な日々を過ごす人が増えた。そんな中で福祉・介護・医療従事者は懸命に人々や利用者の生活を支え、地域のつながりを維持してきた。

✧ 感染リスクへの不安の中、現場の人が何よりも大切にしていることは『誰も排除しない』『誰もとりこぼさない』という気持ちだろう。そして、そんな不安を抱えながら頑張っている現場を支える役割を持つのが本会のような組織だ。

✧ 本会が目指す「誰もが尊厳をもつていきることができる社会」には成しえない。コロナ禍を経験したあなたが、これから生きていく社会の中で大切にしたいこと、共有したい思いを表現できる場があることを願う。

✧ そして私たちは未来のあなたと一緒に真の共生社会を築いていけることを信じている。

もえくさ



N.K

ホテル＆カフェを
利用した、
新たな活動！



少女たちの居場所づくりの取組

—しょうじょ—

生きづらさを抱える少女たちに、生活に必要な支援や居場所づくりを行う〈京都わかくさねっと〉。このたび、ホテルと連携して、新たな居場所を立ち上げました。一体、どんなきっかけで、どのような思いを持った人々が行なっているのか。話を伺いました。



京 都市左京区に佇む、おしゃれな建物が目を引く『HOSTEL NINIROOM』。ホテル＆カフェとして機能する一方、「少女たちの居場所」としての役割も持っています。

「新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が多くなった分、家庭内暴力や児童虐待といった問題が起これりやすいという報道を見たオーナーがショックを受けたんです。そこで何かできることはないかとSNS上で発信したところ、その投稿を見た方が京都わかくさねっとさんと引き合わせてくれました」

そう語るのは、NINIROOM マネージャーの大東さん。府内で少女たちの支援に取り組んできた一般社団法人京都わかくさねっとと連携し、2020年7月から「わかくさカフェ」を立ち上げました。

「毎週火曜日の15時～18時、ラウンジの一角に専用のスペースを設けて、京都わかくさねっとのスタッフが少女たちを迎え入れます。火曜日以外でも、お昼寝などで利用できるように客室を開放したり、食べるもの

「最初、この活動を行なうと決まったとき、誰も来ないんじゃないかと不安だったんです。けれど、ここに来る女の子同士が自然と仲良くなって、人数が少しずつ増えていきました。痛みがあるから、その分感受性が豊かんでしょね」

今後の課題は、居場所を必要とする少女たちに、どのように活動を知ってもらおうか。京都市内でホテルをシェアターとして使用する活動は行なわれていますが、まだまだ知名度は高いとは言えません。

「女の子たちが誰かと一緒にいたいときに気軽に立ち寄れる場所を、これから徐々に増やしていければと思っています。私たちが少女たちに行なっていることは、意識すれば誰でもできることだと思います」

の困っている子には無料で食事の提供もしています」

一方の京都わかくさねっとの渡部さんは、次のように話してくれました。「家庭環境などに問題があっても居場所がない少女たちが、少しでもホッとできる場所でありたいと考えています。NINIROOMさんは雰囲気よく、女の子も立ち寄りやすいので気に入っています。女の子たちにとって、親戚のおばちゃんのような、オープンな存在でいてほしいので名前を聞いたり、無理に話を引き出したりするのはなく、自分から心を開いてくれるのを待ちます」

お菓子を食べながらお話をしたり、一緒にゲームをして遊んだり。その中で、詮索しすぎず、世話を焼きすぎないことを心がけているそう。

一般社団法人
支援団体 **京都わかくさねっと**

さまざまな年代の女の子に来てもらえると嬉しいです。

ここに来て気楽にして欲しいというのが一番の思いです。来た子たちと何をするかを一緒に考え、マスクを縫うこともしました。来てくれる子は17歳から20歳くらいが多いです。でも、「中学生のときに来ていたら非行少女にならずに済んだのに」という声もあるので、小中学生の女の子にも来てもらえたらよいなと思っています。



大東瑠美さん

少しでも気になった方がいれば、いつでも見学可能です

HOSTEL NINIROOM
TEL:075-761-2556
(10:00-18:00)
@hostel_niniroom
@niniroom

HOSTEL **NINIROOM**

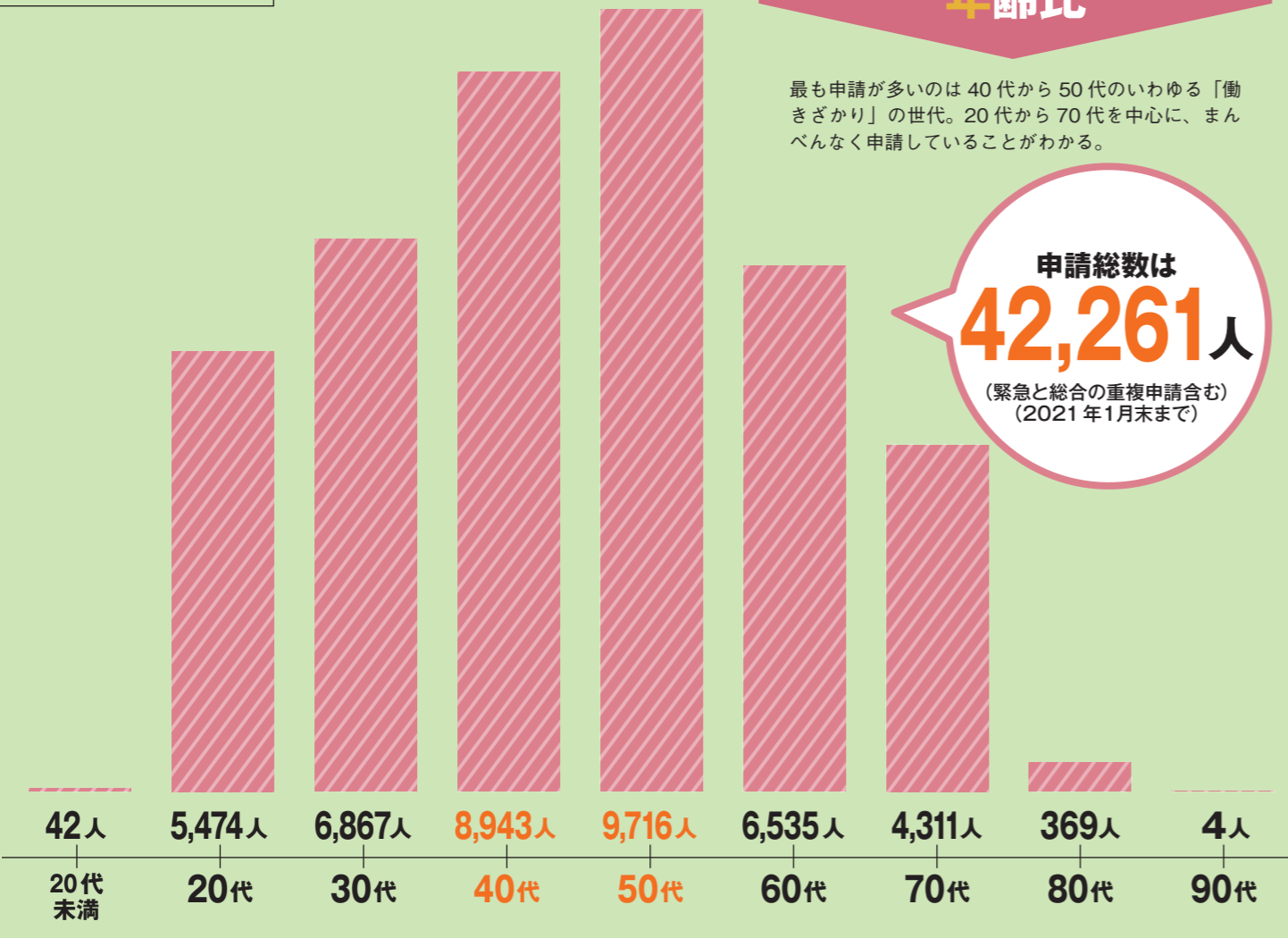
気負わずに利用
してもらえるような工夫を

女の子たちがいつ来ても自然な出迎えができるよう、スタッフ一同で情報共有をしています。また、ベッドや食事を無料で提供していますが、そのことに罪悪感を覚えてしまう子もいるので、「お昼寝をした後はベッドメイキングをする」など、ちょっとしたお手伝いをしてもらうようにしています。一緒に作業をすることで、コミュニケーションのきっかけにもなったりします。



年齢比

最も申請が多いのは40代から50代のいわゆる「働きざかり」の世代。20代から70代を中心に、まんべんなく申請していることがわかる。



申請総数は
42,261人
(緊急と総合の重複申請含む)
(2021年1月末まで)

特例貸付額

2021年1月末の時点で、緊急小口資金特例資金と総合支援貸付資金の貸付総額は211億円を超えた。東日本大震災や西日本豪雨のときに比較して、新型コロナウイルスの影響を受けた範囲が広いのが今回の特徴だ。

計211億274万円
小口: 45億6,256万円
総合: 165億4,018万円
2020年度
(2021年1月末まで)

2020年度は
約1,141倍

計1,849万円
小口: 752.4万円
総合: 1,096.6万円
2019年度

コロナ特例貸付金のいま

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて始まった特例貸付。受付開始から約1年、府社協担当職員に貸付相談・申請を通して見えてきたことをインタビューしました。

——2020年3月25日から特例貸付の申込が始まりました。それまでも貸付制度はありましたが、今回の特例貸付の特徴を教えてください。

今回の特例では、緊急小口資金の上限は20万円に拡大されました。そして、緊急小口資金、総合支援資金ともに一律無利子となりました。これまでもこれらの貸付制度への相談・実施はありましたが、件数はそれほど多くなく、2019年度は100件ほどでした。しかしこのコロナ禍の影響を受け、2020年度は1万件以上に激増しました。今後も1万件以上の貸付があると予測されます。

——これまでは、「仕事を辞めたから助けてほしい」という相談は、どちらかというと20代後半から30代前半の若い世代に多かったのですが、今回は働いて子育てをしている活動年齢の世代(30〜50代)が特に影響を受けている印象があります。また今回の相談で驚いたのが、「アルバイトも日雇いの仕事もない」という相談でした。リーマンショックを

能となりました。それ以降、問合せの電話がひっきりなしにかかってくるようになり、その対応が大きな負担になったため、コールセンターを作り、そこで電話対応できるように仕組みを作りました。困っている方に少しでも早く送金するために、処理のスピードを早めるなど、試行錯誤しながらやってきました。

——その中で感じたのは、申請の階層が変わったということ。これまで貸付を利用するのはどちらかというと、低所得層の人たちが多かったのですが、今回は20代や70代以上の方、外国籍の方など今まで貸付の利用が少なかった人たちが、あまり相談が多くなったような人が申請しているという印象があります。

——また、これまで貸付を受けた方への再貸付も始まり、非常に多くの方の申請をいただいています。

——この1年、本当に多忙を極めたと思いますが、その中でも心安らぐことはありましたか？

今回、特に相談件数が増えたというところがあるのですが、相談が多いというところは、逆に考えればそれだけ困っている人がいるということです。コロナ禍以前には社会における貸付の仕事が見えにくい部分がありましたが、これだけの相談件数を見ると、自分たちの仕事の社会的使命を強く感じます。今回は特に人命に直結している感がありますね。

また、今回の貸付を利用した人が

はじめとする不況のときも、アルバイトすらないという話は聞いたことがなかったもので、厳しい情勢を感じます。

——現場で対応していて、いつ頃から状況が変わりましたか？

緊急事態宣言が発令されて、ゴールデンウィーク前あたりからですね。相談の件数が徐々に増えてきたというのがあります。その頃から申請の手順も変わってきました。本来、貸付は相談して、書類を揃えて窓口で申請するというのが基本的な流れです。当初はその手順を踏んでいましたが、国から少しでも早く送金ができるようにという通知があり、また職員の感染症対策もあって、郵送対応も可能になりました。それに伴い、例えば京都市では相談窓口を京都市社協に一本化し、区社協の職員もそこに集結して対応するようになりました。

——申請の仕方も変わったのですか。大変なことはありませんか？

1日に何百件と膨大な量の書類が届くので、その内容精査や情報登録などに時間がかかりましたね。場合によっては、申請者に電話で確認を取る必要がありました。窓口の職員も、同じ仕事を速く進めなければならぬという大変さがありました。

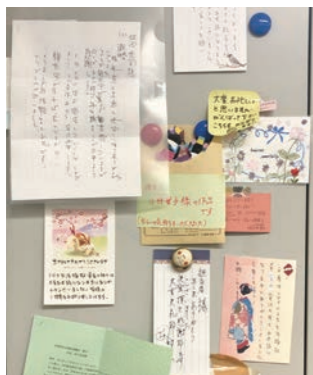
——加えて、7月頃に総合支援資金特例貸付の貸付期間の3ヶ月延長が可能になりました。

「助かりました」「返していく意欲が出てきました」「本当にありがとうございました」といったお手紙やお礼の言葉をいただく機会も多数ありました。早く送金したい一心から精神的なプレッシャーもあります。そういった言葉は励みになりましたね。

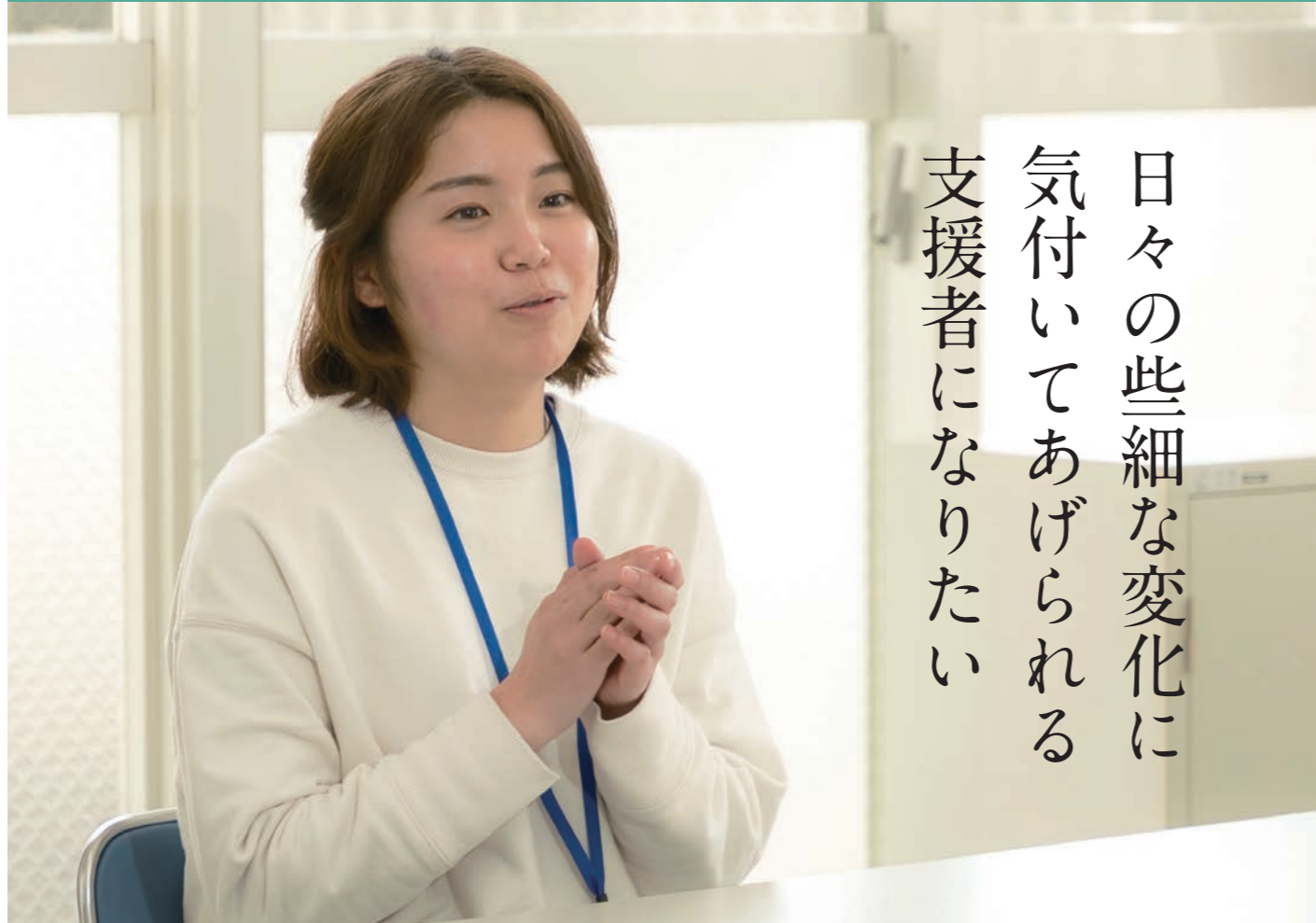
——最後に今後の課題について、感じていることを教えてください。

この特例貸付の制度が終わった後が課題ではないでしょうか。次の政策で対応するのか、またはこの特例貸付がさらに延長されるのか。この制度も特例とはいえ、あくまでも「貸付」なので、返済してもらわないといけません。増え続けていくと、ご本人にも社協にも負担になっていきます。

——本来、社協の貸付の機能は、「話を聞いて、貸す」ことが目的ではありませんが、「話を聞いて、その人が生活を立て直すように支援する」ことが目的です。社協の貸付の本質を見失わない必要を感じています。



送られてきたお礼の手紙の数々。



日々の些細な変化に
気付いてあげられる
支援者になりたい

乙訓ひまわり園 生活支援員・社会福祉士 ● **水谷友依さん**

- ◆この職場を選んだ決め手は？
利用者さんも職員もみんな笑顔で、すごく楽しそうに活動していて、ここに加わりたかったです。
- ◆職場のいいところ
職員間の風通しがよく、上司にも相談しやすいですし、意見も聞き入れてもらえます。
- ◆休日の過ごし方
お笑いにはまっているので、お笑いライブを見に行ったりしています。

「昔から人と関わるのが好きで、人に携わる仕事をしたかと思っていました。いろいろ考えていた中で、福祉ってさまざまなお仕事と幅広く関われるんじゃないかと思ってこの道に進みました」と話す水谷さんは、乙訓ひまわり園で働き始めて2年目を迎えます。普段はグループホームで食事や入浴の介助など利用者の日常生活を支えています。「働き始めた頃は、利用者さんともまだ関係性ができていなくて、お互いどこかぎこちないところがありました。でも時間をかけて向き合っていくうちに、いろいろなこと

を話してくれたり、私の顔を見ると笑顔を見せてくれるようになってきました。関係が深まっていくことにやりがいを感じますね」

利用者の中には、自分の思いをうまく伝えられずに、物に当たってしまう人もいます。水谷さんも当初はその行動の理由がわからなかったそうですが、利用者や利用者さんとの関わりの中で、その人の思いがだんだんと推測できるようになってきたと言います。

「利用者さんともっともっと深く関わって、日々の些細な変化にも気付いてあげられる支援者になりたいですね」

【施設名】(福) 向陵会 乙訓ひまわり園
【場所】京都府向日市上植野町五ノ坪 11-1
【URL】 <http://himawarien.net>
【TEL】 075-935-7081 【FAX】 075-935-7082

会員の皆さんに支えられています

私たち京都府社協は、京都の福祉を支える根っこ。

会員の区分の見直しを進めています

もっともっと、
福祉を支える人、
必要とする人とともに
ある京都府社協を
目指します。

「つながりをいかして、だれもが尊厳をもって
いきることができる社会」を実現するために。
私たち京都府社協は、「どんなことをしている
か見えにくい」といわれることもありますが、
中間支援組織である都道府県社協だからこ
そできることがあります。見えないところで支
える強みを生かして、社会福祉にかかわるみ
なさんと絆を結び、事業を行なっていきます。

みなさんの力が課題解決につながります

- 福祉サービス利用援助事業・生活福祉資金貸付
(地域で困りごとを支える人を支援)
- わかプロジェクト(社会福祉法人による子ども支援)
- きょうとフードセンター(提供された食材を地域の活動へ)

福祉職場で働く人と組織を支えます

- 福祉人材・研修センター(人材の確保・質の向上を支援)
- 市町村社協の活動・組織強化の支援

福祉に関わるみなさんの声が活かされます

京都府社会福祉関係予算等に対する要望

経緯

2020年、京都府社協は第5次中期活動計画をスタートさせました。今年度は財務・組織基盤の強化について検討を行い、会員制度について、対象の拡大や、現在の介護保険・障害福祉サービス等の制度・施策や事業主体の多様化を踏まえた制度へ見直すこととしました。新しい会員制度は令和3年3月の理事会、評議員会での議論を経て、スタートさせる予定です。

会員制度の見直し

社会福祉事業を行う団体は、会員の単位を事業所単位から法人単位に変更します。経営する第1種、第2種社会福祉事業の数を基にするなど会費の算定方法を見直します。個人会員は対象を拡大します。また、会員区分を次の6区分に整理します。

- (1) 市町村社会福祉協議会
- (2) 京都府民生児童委員協議会及び京都市民生委員児童委員連盟
- (3) 社会福祉事業を行う団体
※社会福祉法人以外の法人へも加入呼びかけ
- (4) 社会福祉活動を行う団体
- (5) 更生保護事業などの社会福祉関連分野の活動を行う団体
※会員枠を拡大
- (6) 社会福祉又は関連分野で活動する個人
※会員枠を拡大



京都府社会福祉協議会からのお知らせ

FUKUSHI 就職フェア KYOTO

介護・福祉の仕事
合同就職説明会を実施します。

京都府内全域対象【約100法人出展(予定)】
予約不要・入場無料 随時入場可・服装自由

日程 3月7日(日)

時間 13:00~16:30(受付12:30~)

会場 みやこめっせ 3階第3展示場
地下鉄「東山」徒歩約8分/市バス5、100系統「岡崎公園・美術館・平安神宮前」下車

対象 学生(全学部・全学年大歓迎)
一般求職者(未経験者も大歓迎)

参加方法 ①会場で、実際に法人に会う【予約不要】
②オンラインで(自宅等から)参加する【事前予約必要】

公式サイトから申込→



※新型コロナウイルス感染症への予防対策を実施します(ご理解・ご協力をお願いします)
・体温測定、マスク着用、手指消毒、社会的距離の確保、ブースでのパーティション設置

京都府保育園 就職説明会

京都府内全域の保育園・認定こども園が参加されます。
保育の仕事に関心のある学生の方はもちろん、
一般の方も大歓迎!履歴書は不要、服装も自由!
是非、御参加ください!

日程 3月14日(日)

時間 13:00~16:00(受付12:30~)

会場 京都産業会館 2階「中南室」
地下鉄「四条」、阪急「烏丸」すぐ

対象 保育園・認定こども園に就職を希望する
一般・学生等の方

出展 ①対面・オンライン併用方式 約40法人
②オンラインのみ 4法人

参加方法 ①会場で!実際に法人に会う(予約不要 直接お越しください)
②オンラインで参加する【事前予約必要】

公式サイトから申込→



※新型コロナウイルス感染症への予防対策を実施します(ご理解・ご協力をお願いします)
・体温測定、マスク着用、手指消毒、社会的距離の確保、ブースでのパーティション設置

申込・問い合わせ先

京都府保育人材マッチング支援センター
TEL. 075-252-6333
http://fukujob.kyoshakyo.or.jp/hoiku/

相談&面接会

京都府内の5法人が出展する相談&面接会を開催します!福祉のお仕事に興味がある方、
就職を希望する方など、ぜひご参加ください。
【事前予約必要】

日程 3月12日(金)

時間 15:00~17:00(受付14:30~)

会場 ハートピア京都 1階スペース

問い合わせ先

京都府福祉人材・研修センター
TEL. 075-252-6297
http://fukujob.kyoshakyo.or.jp/

「京都の福祉」は、みなさまからの
情報をお待ちしています!

府社協の広報誌「京都の福祉」は、「支える人を支える」をテーマに、読み手のみなさまに活用していただける紙面づくりに努めています。ご意見や感想はもちろん「こんなテーマを取り上げてほしい」「取材してほしい」、そんな情報をぜひ気軽にお寄せください。

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索

©中央共同募金会



本紙は、共同募金の
配分金によって
つくられています。

令和2年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために!

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

① 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		▶年額保険料(掛金)	
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
100名以降1名~10名増ごと	1,500円
基本補償(A型) 保険料	[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償

プラン4 社会福祉法人役員等の補償



充実した補償と
割安な保険料
です。

スケールメリットを活かした

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)